新刊ぴっくあっぷ

「我が家のヒミツ」 奥田英朗著 集英社／結婚して数年がたち不妊に悩み始めた夫婦、16歳の誕生日を機に初めて実の父親に会いに行くことを決意した女子高生…。笑って泣いて、人生が愛おしくなる平成の家族小説。

「マイストーリー 私の物語」 林真理子著 朝日新聞出版／芥川賞作家の母親、「死んだ旦那の自伝を作りたい」と訪れた美しい未亡人…。自費出版の編集者・太田の元には様々な依頼が舞い込む。出版をめぐる人々の欲望と野心を鮮やかに描く。

「ワクチンX 性格変更、承ります。」桂望実著 実業之日本社／20XX年。理想の人間に近づける“性格補強ワクチン”が突然生産不能に。発覚を恐れた女社長は東奔西走するが…。幸せを求める人々の欲望、絶望、希望が交錯する怒涛のヒューマン・サスペンス。

「明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」 樋野興夫著 幻冬舎／「あれもこれも」より「これしかない」で生きる、病気になっても病人ではない…。メスも薬も使わず3000人以上のがん患者と家族に生きる希望を与えた「がん哲学外来」創始者の、心揺さぶる言葉の処方箋。

「妻が遺した一枚のレシピ」 山田和夫著 青志社／パンの力が人と人の心を紡ぐ。そう信じる、がんで逝った妻の思いはやがて「あさやけベーカリー」「あさやけ子ども食堂」へ受け継がれていった。NHK「にっぽん紀行」で話題になった池袋の小さなパン屋の物語。

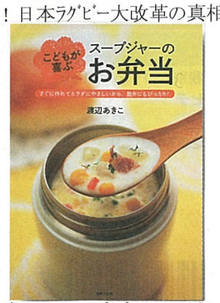
「あさが来た 上」 青木邦子ノベライズ NHK出版／京都の豪商の家に生まれたあさは、大阪で一・二を争う両替屋に嫁ぐものの、明治維新の荒波にのまれ蔵の中は空っぽに。あさは夫に代わって商いを学び、事業を成功させていく…。

「池上彰の戦争を考える 戦争はなぜ始まりどう終わるのか」 池上彰ほか著／2010～2015年の夏に放送されたﾃﾚﾋﾞ東京「池上彰の戦争を考えるSP」を書籍化。太平洋戦争へとつながる満州事変から、第2次世界大戦、さらにその後の戦争までを追い、平和のために何ができるかを考える。

「ｴﾃﾞｨｰ･ｼﾞｮｰﾝｽﾞの日本ﾗｸﾞﾋﾞｰ改造戦記 ｼﾞｬﾊﾟﾝ進化へのﾊｰﾄﾞﾜｰｸ」 大友信彦著 東邦出版／初めて敵地で欧州勢に勝利、ﾗｸﾞﾋﾞｰ王国・ｳｪｰﾙｽﾞも初撃破、世界ﾗﾝｷﾝｸﾞ最高位は9位に更新！日本ﾗｸﾞﾋﾞｰ大改革の真相とその軌跡に迫る。

「Ｎｕｍｂｅｒ」他、掲載を書籍化

「作務衣、甚平、はんてん、日常着 手作りしたい和ｽﾀｲﾙ」 ﾌﾞﾃｨｯｸ社／おしゃれで粋なふだん着、作務衣。夏の涼しいくつろぎ着、甚平。1枚あるだけで暖かく過ごせる、はんてん。近所にも着て出かけられる、かっぽう着…。さまざまな和ｽﾀｲﾙの作品を紹介。



「こどもが喜ぶｽｰﾌﾟｼﾞｬｰのお弁当 すぐに作れてｶﾗﾀﾞにやさしいから、塾弁にもぴったり！」 渡辺あきこ著 世界文化社／ｽｰﾌﾟｼﾞｬｰを見方にすれば、お弁当作りがぐんと楽になる！こどもが好む食材を中心にｽｰﾌﾟ42品と、ｽｰﾌﾟと一緒に持たせたいごはん17品のﾚｼﾋﾟを紹介。

「花ごよみ365日 季節を呼びこむ身近な草花の生け方、愉しみ方」 雨宮ゆか著 誠文堂新光社／せわしない現代生活でふと立ち止まり、足元の草や花たちの時間にやすらぐひとﾄｷ。日常と結びつく草花たちが教えてくれる、季節のことや暮らしのこと…。一年365日、身近にある草木を日々生けて綴った花のこよみ。

としょかんだより

【下條村立図書館 119号 2015年11月1日発行】

朝晩はひんやりと冬の寒さがしみいるこのごろですが、日中は夏の日差しが照りつけ、汗をかくことの多い不思議な季節です。収穫の秋、忙しいけれど読書の秋・芸術の秋・スポーツの秋、図書館で楽しいことといっぱい見つけてみませんか？

としょかん大好き家族 塩沢さんご一家

PART99

山一東（亀屋）

日曜日の10時半過ぎ、おはなし会に、**真生（まお）ちゃんと深生（みお）ちゃん（年長・6歳）**が元気よくやってきました。「もう、はじまった？」と聞くのは双子のどちらでしょう？「これから始めるよ」と聞くが早いか会場準備。おはなしコーナーの観客席のいすをあっという間に並べ、いつでも始められるようにしてくれます。**三女の杏花（きょうか）ちゃん（2歳）**と3人そろって座り、おはなし会が始まりました。「長いお話の絵本だと最後まで聞けないことがあるから、ここだと聞けるかなと思って」と話す**お母さんの千保さん**は、近くで料理の本を選びながら、子どもたちの様子をうかがっています。

千保さんが下條村にお嫁に来て、双子の赤ちゃんが生まれ育児休暇に入ると、**若いおばあちゃんの公子（きみこ）さん**が「図書館に行くと絵本がいっぱいあるよ」と勧めてくれたそうです。「私も子どものころから本がすきだったから、この棚いっぱいの本を見たらうれしくて。読書は勉強にも役立つし好きなものを見つけられるから、子ども達にもいろんな本と出会ってほしい」と話します。

真生ちゃんは、どんどん新しいものにチャレンジしていくタイプ。絵本も、初めて見るものや新作を読んでいきます。深生ちゃんは、長いお話も好きだけど今でも赤ちゃん絵本が好き。このごろ二人そろって気に入ったのは、**『これはおひさま』谷川俊太郎/大橋歩（福音館書店）**のリズム感あふれる言葉あそびの世界でした！

お父さんの賢人（よしと）さんは、子どものころから図書館へ通っていた常連さん。**祖母の司味子（しみこ）さん**、母の公子さんと一緒に本を借りていくこともありました。父親となった今も、休みの日に子どもたちを連れておはなし会に参加したり、一緒に絵本を選ぶこともあります。

「上の二人はやんちゃで、杏花も三人目で強いし、寄ると触るとケンカばかり。誰も負けてないから際限なし。でものびのび育っていて、いいのかなとも思います。働きながらの子育てで、時間に追われるとつい親もキツくなっちゃうんですが、おばあちゃんたちが『まあまあ』と一声かけてくれると気持ちがなごんで救われます。大家族の子育ては、本当にありがたいです」とおだやかに話してくれる千保さんでした。

もくじ 1ｐ図書館大好き家族 2ｐ読書月間で得しよう 3ｐおたのしみ会情報 4ｐ新刊ぴっくあっぷ

読書月間は、図書館でトクしよう！

☆読書月間：11 月 14 日（土）～12 月 20 日（日）

開館 20 周年を迎えた下條村立図書館　読書月間の、おトクな情報をお知らせします！

1.「開館２０周年記念利用バック」のプレゼント

期間中、来館し図書館の本などを借りられた方に、もれなくオリジナルバッグをプレゼントします（500枚限定）。一家族一つに限らせていただきます。

2.新しいＤＶＤの貸出スタート

【洋　画】「ナイトミュージアム　エジプト王の秘密」
「チャーリーとチョコレート工場」
「6才のボクが大人になるまで」
【邦　画】「紙の月」「まほろ駅前狂想曲」「深夜食堂」
【ドラマ】「深夜食堂」第1～3 部（全9巻）ほか

3.古本交換市

- ✧ 消耗破損がひどく廃棄する本やビデオ、雑誌のバックナンバー（古雑誌）、小学校図書館の廃棄本、寄贈本などを、土曜日ごとにまとめて出します。
- ✧ みなさんのお宅にあるいらなくなった本など（状態がよくリユースできるもの）がありましたら、**古本交換市にお出しください。**次の場所で（誰かに）、活用されることがあるかもしれません。
- ✧ 本の寄贈は、年間通して受け付けていますが、今回の古本市に出したい方は13日（金）までを目安に、図書館までお持ちください。

古本交換市　実施予定
（土曜日ごとに分けて出します）
１１月１４日：雑誌第１回目/廃棄本/廃棄ビデオ
１１月２１日：雑誌２回目/小学校廃棄本
１１月２８日：雑誌３回目/廃棄本・廃棄ビデオ
１２月　５日：雑誌４回目/廃棄本

4.雑誌のふろくプレゼント

- ✧ 図書館で定期購読している雑誌（約50誌）のふろくを、利用者の皆さんにプレゼントします。
- ✧ 読書月間中に本を借りた人に、応募券を配ります。
- ✧ 応募を受け付け、後日抽選発表します。
- ✧ バッグ、メモパッド、クリアファイル、ポストカード、ポスターほか豪華景品があなたを待っています！

期間中、こんなサービスもあります！

➢ **福祉バスが図書館へ行きます!**

読書月間期間中は、運転手さんに声をかければ、福祉バスが図書館まで行きます。「福祉バスで図書館へ」ぜひお出かけ下さい。

➢ **読書月間おすすめ本リスト＆新刊リストを全戸配布**

本との出会いを、お楽しみに！

カラーウレタンで作るゆかいなパクパク人形

参加者を募集します！

日時：2015 年 11 月 15 日（日）
AM10：00～12：00
場所：あしたむらんど下條　かいぎ室
指導：吉澤　亜由美さん（人形美術家/山一西）

見本の人形が図書館にあります。

募集期間：１０月中旬～定員になりしだい〆切
対　　象：保育園児（年少）～大人　３０人まで
＊保育園児の参加には、保護者同伴でお願します
材 料 費：人形一体につき／白（ホワイト）：160 円
　　カラー（ブルー・ピンク・クリーム）：220 円
持 ち 物：人形につけるもの
（毛糸・フェルト・布・レースボンボン・スパンコールなど）
そ の 他：親子で参加の場合１個ずつ作ることもできます。
　　一般の方の参加も受け付けます。
　　☆お申し込みは図書館まで！！

村の文化の祭典にて作品を展示する予定です！期間は、11 月 21 日(土)～23 日(月)の三日間です。

『きれいな図書館でいいな！』

“ざぶとんカバー”が新しくなりました！

図書館開館時に、「閲覧机の椅子に敷くように」と利用者の方が、手作りの座布団１２枚を寄贈してくださいました。今回、図書館友の会の森口享子さん（新井）が、すべての座布団にきれいなカバーをかけてくださいました。本を読むひとも、勉強をする人も、とても気持ちよく使えるようになりました！